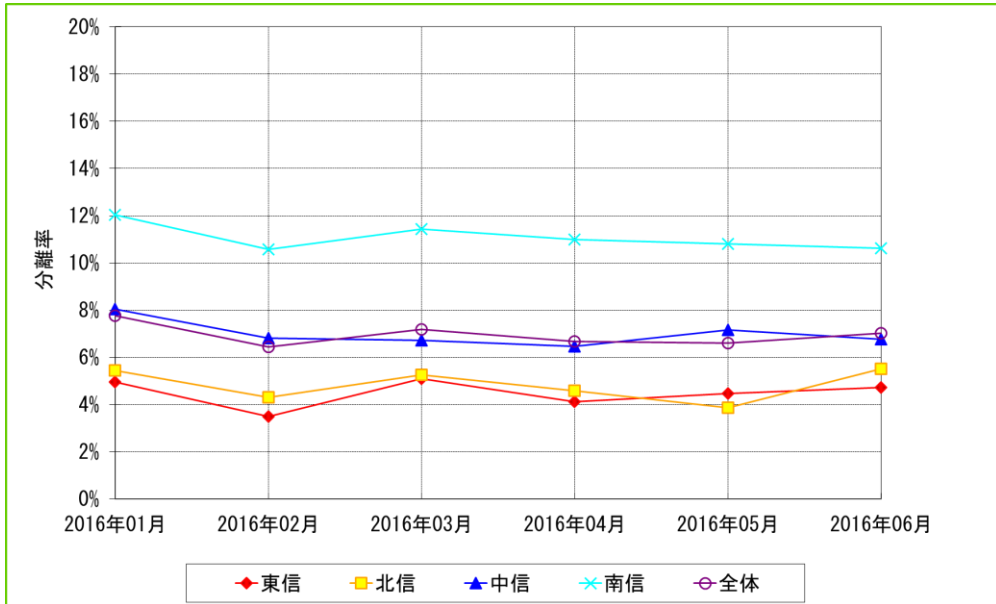


長野県各地区の耐性菌分離率

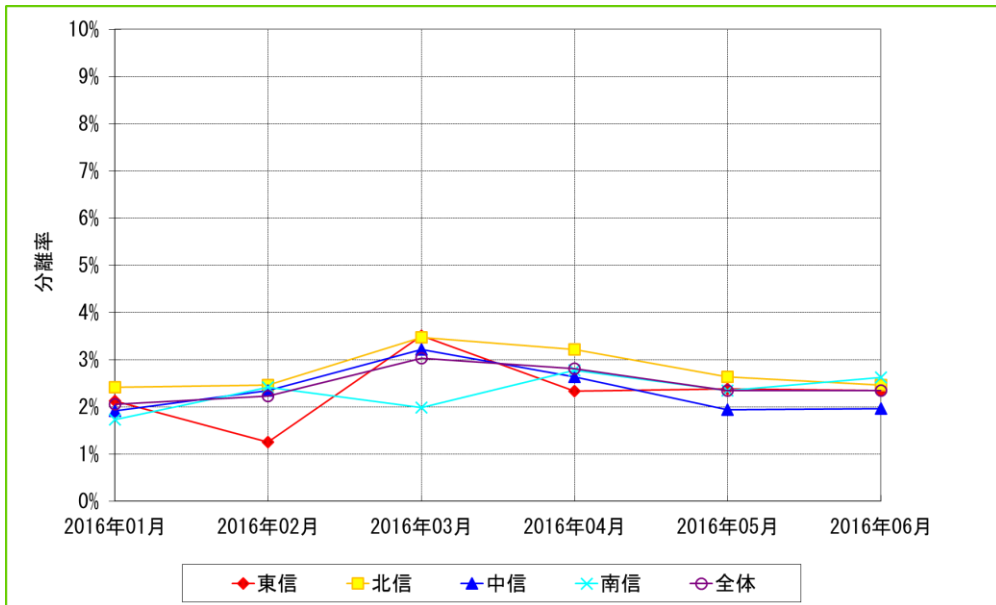
- 対象期間 : 2016年1月～2016年6月の6ヶ月間
- データ集計日 : 2016年7月26日
- 集計対象施設数 : 56施設

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)



	2016年1月			2016年2月			2016年3月			2016年4月			2016年5月			2016年6月		
	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率
東信 計	989	49	4.95%	800	28	3.50%	941	48	5.10%	900	37	4.11%	965	43	4.46%	1020	48	4.71%
北信 計	1743	95	5.45%	1785	77	4.31%	1845	97	5.26%	1707	78	4.57%	1786	69	3.86%	1746	96	5.50%
中信 計	1304	105	8.05%	1189	81	6.81%	1398	94	6.72%	1332	86	6.46%	1440	103	7.15%	1479	100	6.76%
南信 計	1504	181	12.03%	1372	145	10.57%	1461	167	11.43%	1439	158	10.98%	1452	157	10.81%	1488	158	10.62%
全体 計	5540	430	7.76%	5146	331	6.43%	5645	406	7.19%	5378	359	6.68%	5643	372	6.59%	5733	402	7.01%

第3世代セファロスポリン耐性大腸菌



	2016年1月			2016年2月			2016年3月			2016年4月			2016年5月			2016年6月		
	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率
東信 計	989	21	2.12%	800	10	1.25%	941	33	3.51%	900	21	2.33%	965	23	2.38%	1020	24	2.35%
北信 計	1743	42	2.41%	1785	44	2.46%	1845	64	3.47%	1707	55	3.22%	1786	47	2.63%	1746	43	2.46%
中信 計	1304	25	1.92%	1189	28	2.35%	1398	45	3.22%	1332	35	2.63%	1440	28	1.94%	1479	29	1.96%
南信 計	1504	26	1.73%	1372	33	2.41%	1461	29	1.98%	1439	40	2.78%	1452	34	2.34%	1488	39	2.62%
全体 計	5540	114	2.06%	5146	115	2.23%	5645	171	3.03%	5378	151	2.81%	5643	132	2.34%	5733	135	2.35%

長野県各地区の耐性菌分離率

- 対象期間 : 2016年1月～2016年6月の6ヶ月間
- データ集計日 : 2016年7月26日
- 集計対象施設数 : 56施設

多剤耐性緑膿菌(MDRP)

	2016年1月			2016年2月			2016年3月			2016年4月			2016年5月			2016年6月		
	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率	検体総数	分離数	分離率
東信 計	989	0	0.00%	800	0	0.00%	941	1	0.11%	900	0	0.00%	965	0	0.00%	1020	0	0.00%
北信 計	1743	0	0.00%	1785	1	0.06%	1845	1	0.05%	1707	1	0.06%	1786	0	0.00%	1746	0	0.00%
中信 計	1304	0	0.00%	1189	0	0.00%	1398	0	0.00%	1332	3	0.23%	1440	2	0.14%	1479	0	0.00%
南信 計	1504	1	0.07%	1372	1	0.07%	1461	1	0.07%	1439	2	0.14%	1452	1	0.07%	1488	2	0.13%
全体 計	5540	1	0.02%	5146	2	0.04%	5645	3	0.05%	5378	6	0.11%	5643	3	0.05%	5733	2	0.03%

抽出条件・統計処理

- ・対象期間の入院患者を対象とする。
- ・重複処理は患者IDが同じ場合1件とカウントする。
- ・耐性菌の分離率＝[(菌分離患者数)÷(検体提出患者数)]×100(%)
- ・過去月分の分離データは集計日以降に送信されたデータも含む。
(過去のレポートデータと異なることがあります、ご了承ください。)

信州インфекションコントロールサーベイランスシステム(SICSS) 耐性菌判定基準

菌名	概要	微量液体希釈法	ディスク拡散法
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)	MPIPCが“R”の <i>Staphylococcus aureus</i> (またはCFXがディスク拡散法で“R”)、又は選択培地でMRSAと確認された菌	MPIPC ≧ 4μg/mL	MPIPC ≧ 10mm CFX ≧ 21mm
多剤耐性緑膿菌(MDRP)	下記条件をすべて満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・カルバペネム系が“R” ・アミカシンが“I”か“R” ・フルオロキノロン系が“R”(LVFX、CPFXのいずれか)	IPM・MEPM ≧ 8μg/mL AMK ≧ 32μg/mL LVFX ≧ 8μg/mL CPFX ≧ 4μg/mL	IPM、MEPM ≧ 15mm AMK ≧ 16mm LVFX ≧ 13mm CPFX ≧ 15mm
第3世代セファロスポリン耐性大腸菌	CTX、CTRX、CFPMのいずれかが“I”か“R”、又はCAZが“R”の <i>Escherichia coli</i>	CTX ≧ 2μg/mL CTRX ≧ 2μg/mL CFPM ≧ 16μg/mL CAZ ≧ 16μg/mL	CTX ≧ 25mm CTRX ≧ 22mm CFPM ≧ 17mm CAZ ≧ 17mm